

# 令和2年度 自己評価書

学校名	和歌山市立高松小学校
校長氏名	島本和昌
作成日	令和3年2月22日

## 1 教育目標

豊かな人間性と、自ら学ぶ意欲を持ちたくましく生きる子どもを育成する

## 2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校評価保護者アンケート</li> <li>児童アンケート</li> <li>研究授業記録</li> <li>うちどく100冊認定児童数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校評価保護者アンケート</li> <li>児童アンケート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国学調質問紙アンケート</li> <li>きのくにチャレンジランキングの取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校評価保護者アンケート</li> <li>児童アンケート</li> </ul>
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供が主役の授業の推進</li> <li>読書活動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供同士の仲間意識を高める</li> <li>読書活動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣の確立</li> <li>体力向上の推進</li> <li>安全に関しての意識の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域・保護者とのあたたかい連携の充実</li> <li>幼稚園・小学校の連携</li> </ul>
取組の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>各担任が研究授業を行い子供主体の授業のあり方について教育委員会や大学教授などに指導を仰いだ。</li> <li>授業記録をもとに協議を深めた。</li> <li>基礎基本の定着に心がけた。</li> <li>発展的な学びの場も適切に設けた。</li> <li>子供一人一人を知りたいという願いを持ち適切な評価ができるように努めた。</li> <li>読書活動を推進した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年の発達を考慮し道徳教材の活用を行い道徳教育を計画的に取り組んだ。</li> <li>図書ボランティアの方々の協力を得ながら図書室の環境づくりに努めた。</li> <li>感染拡大防止に努めながら縦割り活動を通して仲間づくりの充実に取り組んだ。</li> <li>いじめアンケートを実施し小さな出来事に対して早期発見早期解決に努めてきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染拡大防止のため発達に応じた指導を徹底して取り組んだ。</li> <li>手洗い等感染予防に取り組んでいる子供の姿を大切に受け取り主体的な子供の姿として評価するように心がけた。</li> <li>運動する楽しさや大切さを感じ取らせる場づくりに力を入れた。</li> <li>火災・地震・不審者などを想定した避難訓練を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通指導員の皆様や交通安全母の会の皆様、公民館の皆様等多くの地域住民の方々の協力を得て「地域とともにある学校」を目指すことができた。</li> <li>地域先達・図書ボランティアの方々の協力得て子供たちに良書に触れる機会を提供できるように努めた。</li> <li>感染防止の観点に立ち参観授業を複数日予定し、密になることを防ぎながら参観授業を実施した。</li> </ul>
取組の成果と課題(評価結果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>和歌山県学習到達度調査において、どの学年も正答率が和歌山県平均を上回った。</li> <li>アンケートから「本校教員が意欲をもって取り組む授業づくりに努めている」と感じている保護者は91%</li> <li>「学習や集団生活の中で、考える態度や力を養っている」と感じている保護者は94%</li> <li>「学習内容がよくわかる」と感じている児童は90%</li> <li>「100冊以上読書している児童」は96人(2月15日現在)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートから「楽しそうに学校に通っている」と感じている保護者は93%</li> <li>「いじめのない学校学級づくりに努めている」と感じている保護者は89%</li> <li>「学校は楽しい」と感じている児童は93%</li> <li>「友達と仲良くしている」と感じている児童は95%</li> <li>「読書は子供の豊かな心の育成にとって効果がある」と感じている保護者は99%</li> <li>「本を読むのが好きな児童」は87%</li> <li>「学校の出来事をよく話す」と感じている保護者は80%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症について養護教諭を中心に保健の授業を充実することができるように取り組んだ。</li> <li>体を動かす楽しさを味わせたい。</li> <li>防災意識の高まりと定着を感じることができた。</li> <li>種目による苦手意識を取り除き、スムーズステップできる取組を今後も考えていく必要がある。</li> <li>アンケートから「給食を楽しみにしている」と感じている保護者は85%</li> <li>「給食を楽しみにしている」子どもは91%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍ではあるが交通指導員の皆様や交通安全母の会の皆様の協力を得て安全な学校生活を過ごすことができた。</li> <li>高松人権委員会など地域の方からメッセージをいただいた事を教材とし全校で地域の方に感謝の気持ちをもてるように学習を行った。</li> <li>アンケートから「地域や保護者とのつながりを大切に、子供の教育に生かしている」と感じている保護者は85%</li> <li>「進んで挨拶をする意識を高める輪が広がっている」と感じている保護者は79%</li> <li>「気持ちの良い挨拶や話し方をしている」と感じている児童は91%</li> </ul>
改善方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員の教材研究や授業づくりにかける時間をとにかく確保したい。</li> <li>授業づくりはもちろん学級経営力を高め子供の主体的な姿を実現できるように指導を深めていきたい。</li> <li>読書環境の充実を図っていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供の自己肯定感を高めることができるように努めていきたい。</li> <li>子供一人一人の居場所づくりに努めていきたい。</li> <li>読書活動がさらに意欲的に行えるようにボランティアの皆さんの協力を得ながら読書環境づくりに努めていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年の体育授業における単元計画を充実させたい。</li> <li>継続的に感染防止対策を考慮し、体力を高める授業づくりに努めていきたい。</li> <li>健康指導について発達段階を考慮し養護教諭と担任が連携し繰り返し指導を深めていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍のために地域の方々と直接交流する機会が難しいが今後も地域の方の「優しさ」「感謝」等を教材として子供たちに考える機会をもたせたい。</li> <li>挨拶について今一度子供たちと考え合いたい。</li> <li>ホームページや学校だよりなどを通して子供の様子を発信できるように努めたい。</li> </ul>

## 3 振り返り

本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため6月から子供たちの学びがスタートした。子供たちの負担を少なくすると共に学習内容に漏れがないよう年間指導計画を再構成し取り組んだ一年であった。学校行事においては、保護者の皆様・地域の皆様の協力なしに子供たちの安心安全を守りながら教育活動が成り立つことはなかったと感じている。今後も子供の安心安全を第一に子供たちの学びを止めないように教職員一同本校の教育活動に取り組んでいきたいと考えている。